

編集後記

厚生労働省は「患者調査」をベースに数年ごとに患者数の推計を発表している。精神疾患では気分(感情)障害が 1999(平成 11)年以降非常に勢いで増え続け、2008(平成 20)年には 105 万人に達した。約 80 万人の統合失調症などを抜いて第 1 位で、今や国民的病気である。本誌「シンポジウム：気分障害の生物学的研究の最新動向」では、さまざまな角度からこの気分障害をめぐる議論がなされている。

増え続ける気分障害、特に最近の非定型な病像を示すうつ病については、その診断的位置づけや適切な治療方法についてまだまだ定まっていないようである。そもそも疾患の診断にあたっては、臨床単位が同定でき、病因が判明あるいは示唆され、臨床経過と転帰が予測でき、適切な治療と管理がわかっていることが理想とされるが、気分障害については、基礎研究の進歩や治療方法の拡大とともに、ますます議論が盛んになっている。本誌の「シンポジウム」では、病因・病態、診断、検査などについて最新の情報を提供していただいている。また、近年なぜうつ病診断が増えたのか、診断基準の問題か、新たな治療法の導入の影響か、社会文化的影響はどうかといったことも幅広く論じていただいている。米国精神医学会による DSM 改定を控え、気分障害の診療のベースにある考え方をまとめていくうえで絶好の内容であった。執筆の労を取られた先生方に感謝したい。

さて本誌では、今月号より「[継往開来]—操作的診断の中で見失われがちな、大切な疾病概念や症状の再評価シリーズ」を開始した。これも DSM などと関係することで、最近の操作的診断基準がますます利用される中で、忘れられた、あるいは忘れられていきそうな重要な概念を解説していただくというシリーズである。まずは前田先生に「仮性痴呆」についてお書きいただいた。一読、「仮性痴呆」が長い時間軸の中で多様な意味を持ち続け、今後新しい視点からも注目されるものであることがわかる。このシリーズが、臨床的にも有用なものとなるように編集子一同願っている。

花粉症まっ盛りの時期となりました。読者の皆さまのご健勝、ご活躍をお祈りいたします。

(S.I.)

■ 編集委員

朝田 隆
飯森真喜雄
井上 新平
小島 卓也
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第 53 巻 第 4 号)

2011 年 4 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

[2011 年年間購読料 (税込, 送料弊社負担)
冊子のみ 30,600 円, 冊子 + 電子版 39,800 円, 電子版/個人
30,600 円, 電子版/共有 35,190 円]

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構
(電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。